



病児保育所おひさまルームは山形済生病院に併設しています。
感染予防対策の情報を発信していきます。

いっしょにうたいましょう♪

赤ちゃんをRSウイルスから守る！ RSV母子免疫ワクチン

2026年度から定期接種化(公費助成)！
妊婦さんが接種して赤ちゃんに免疫を贈るワクチンです。



RSウイルス

RSウイルスの脅威とワクチンの効果

100%

2歳までにほぼ100%の乳幼児が感染
非常に感染力が強く、生後1歳までも半数以上が感染します。



生後6ヶ月未満は特に重症化しやすい
呼吸が苦しくなる肺炎や細気管支炎を起こし、入院が必要になることも。

約82%
抑制

生後3ヶ月時点の重症化を約82%抑制
お母さんの接種により、赤ちゃんが重症化し入院するリスクを大幅に下げます。

お母さんから贈る「母子免疫」のバリア

胎盤を通じて赤ちゃんへ抗体をプレゼント
お母さんが作った抗体が、お腹の赤ちゃんに直接引き継がれます。



お母さんの抗体

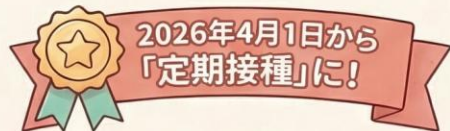
免疫が未発達な「生まれた瞬間」から守れる
自ら抗体を作れない新生児期を、お母さん由来のバリアで保護します。



接種時期と2026年4月からの制度変更



任意接種(自費:約3万円)
流行期に備えた早期接種も選択肢です。



原則無料(または少額負担)となり、
国の推奨する重要な予防接種となります。

接種の
黄金期

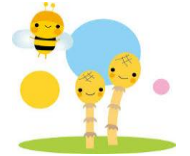


妊娠28週～36週

抗体が赤ちゃんに十分伝わるよう、
計画的な接種が推奨されています。

あくしゅでこんにちは

てくてく てくてく
あるいてきて
あくしゅでこんにちは
ごきげんいかが



もにやもにや もにやもにや

おはなしして

あくしゅでさようなら

またまたあした



山形済生病院 病児保育所



おひさま ルーム

〒990-0818 山形市沖町79番3

TEL・FAX: 023-674-8856

HP: <https://www.ameria.org>

開設日: 月曜日から金曜日

(祝日・年末年始除く)

8:30~17:00

対象児: 1歳から小学校6年生

配置職員: 看護師・保育士

